

かすみがうら市・石岡市・小美玉市

広報 国道6号バイパス

2020年4月1日号 発行/国道6号バイパス建設促進期成会 事務局/石岡市都市建設部都市計画課

位置図



**国道6号千代田石岡バイパスって
どんな道路なの？**

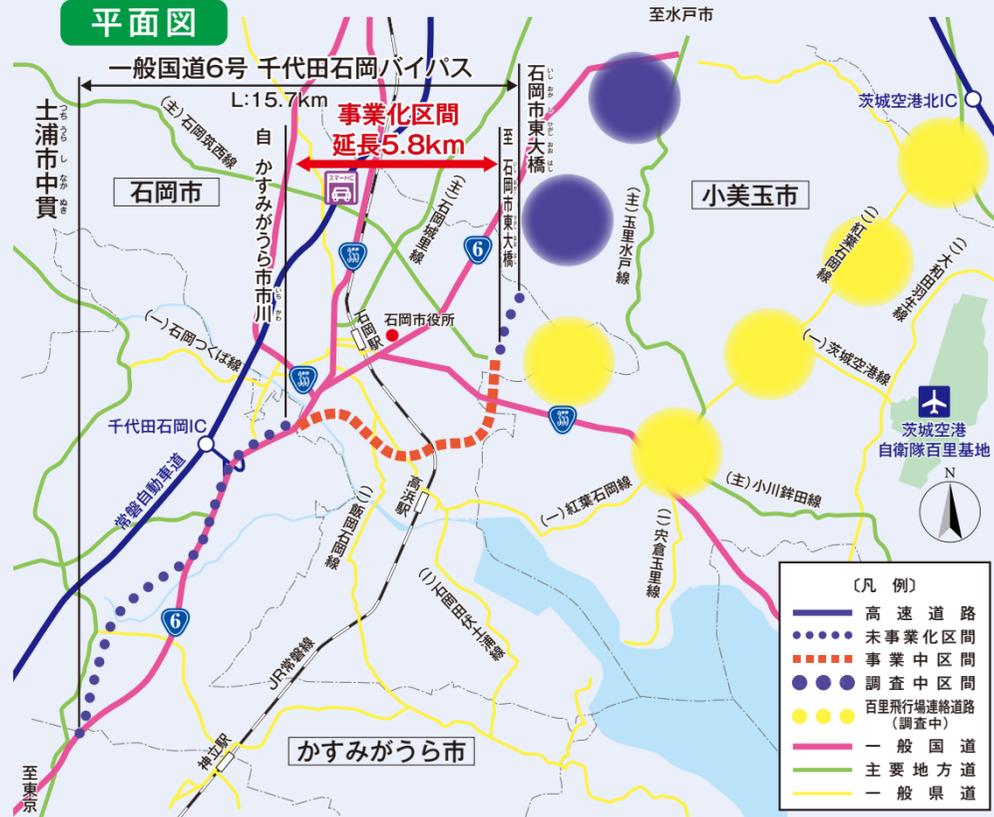
石岡市街地の交通渋滞緩和と
交通拠点へのアクセス機能の
強化を図ります。

土浦市から石岡市までの一般国道6号は、常磐道千代田石岡IC付近及び石岡市街地で慢性的な交通渋滞や沿道での事故が多発しています。このような問題を解消するために千代田石岡バイパスは計画されました。

本バイパスの整備により、石岡市内に混入する通過交通を分散させることで、交通渋滞の緩和や安全性の確保、さらには茨城空港へのアクセス時間の向上など、物流機能の強化や地域産業の振興に大きな効果が期待されます。



平面図



埋蔵文化財の発掘調査が実施されました



▲現地説明会の様子

国土交通省関東地方整備局から委託された公益財団法人茨城県教育財団により、国道6号千代田石岡バイパス建設事業に伴う文化財保護法に基づく中津川遺跡(石岡市)の発掘作業が実施されました。今回の調査では、縄文時代中期(約4,000年前)の竪穴住居跡や土坑群と遺物包含層、室町時代(約500年前)の屋敷跡を確認しました。令和元年11月17日には現地説明会が開催され、地域の方々を中心に131名の来場者がありました。

「一般国道6号千代田石岡バイパス・美野里バイパス整備促進要望書」を提出しました



▲国土交通省大臣室にて石井大臣(当時)へ要望書提出

国道6号バイパス建設促進期成会では、令和元年8月5日に国土交通省や関東地方整備局、財務省などの関係機関や、地元選出の国会議員に対して要望活動を行いました。

当期成会の今泉文彦会長(石岡市長)は、各省庁等の対応者に対し、石岡市周辺部における国道6号の慢性的な交通渋滞が、地域産業や観光の振興、さらには沿線住民の日常生活に大きな支障となっている現状や、地域の安全確保に不安を抱えている状況について説明し、国道6号バイパスが一日も早く完成することを強く要望しました。今後も当期成会では、国道6号千代田石岡バイパスの早期完成等を目指して、これからも継続的に要望活動を実施してまいります。

事業説明会が開催されました



▲事業説明会の様子

令和2年1月29日、石岡市石岡運動公園サブアリーナにて国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所主催による事業説明会が開催されました。この説明会は土地収用法第15条の14に基づき実施されたものであり、一般国道6号改築工事(千代田石岡バイパス・かすみがうら市市川字姥久保地内)及びこれに伴う市道付替工事の事業の目的及び内容について説明がありました。

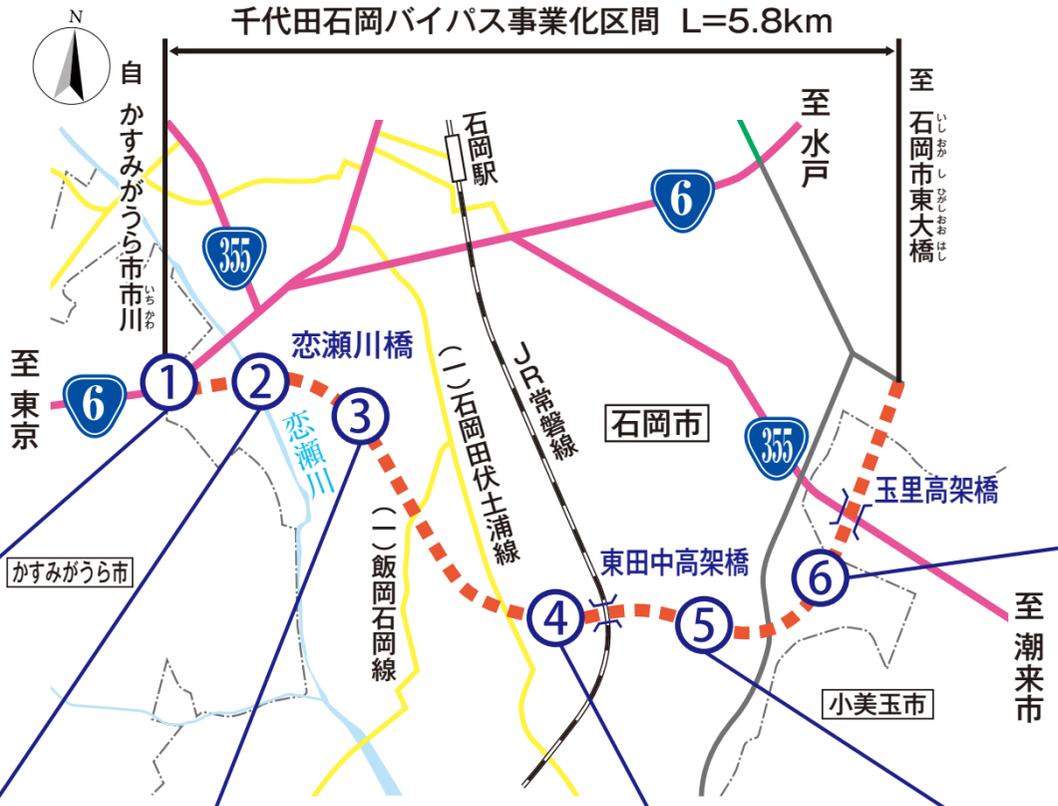
資料提供

- 国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所
- 公益財団法人茨城県教育財団

問合せ先

- 石岡市都市建設部都市計画課 ☎0299-23-1111
- かすみがうら市都市産業部都市整備課 ☎029-897-1111
- 小美玉市都市建設部特定プロジェクト整備課 ☎0299-48-1111

工事の状況



工事が進んでいます

国道6号千代田石岡バイパスは、平成9年3月に土浦市中貫～石岡市東大橋までの15.7km区間について都市計画決定され、そのうち、かすみがうら市市川～石岡市東大橋までの5.8km区間が平成10年度に事業化されております。令和元年度は石岡地区において、本線の盛土工事及び市道を横断するポツク工、埋蔵文化財調査（東田中遺跡）を実施しております。引き続き、令和2年度も本線の工事を進める予定です。



石岡地区改良工事 ※破線は、道路幅の目安を示しています。



東田中地区函渠工事 ※破線は、道路幅の目安を示しています。



幸町田島下線跨道橋上部工事(令和元年12月完成)



田島地区改良工事 ※破線は、道路幅の目安を示しています。



北根本地区改良工事



埋蔵文化財調査(東田中遺跡)

国道6号 千代田石岡バイパス完成予想



石岡市石岡付近



石岡市東田中付近

計画諸元			
路線名	国道6号	標準幅員	一般部30.0m 橋梁部25.5m
延長	15.7km(事業化区間:5.8km)	車線数	4車線
区間	自:茨城県土浦市中貫	道路の区分	3種1級
	至:茨城県石岡市東大橋	設計速度	80km/時

標準横断面			
● 土工部(盛土:4車線区間)	● 土工部(切土:4車線区間)	● 橋梁部	単位:m

※標準横断面は代表的な断面であり、場所によって異なる場合があります